

～感染の急拡大を受けて～
市民の皆様へのメッセージ

藤沢市長の鈴木恒夫です。

緊急事態宣言が発出され10日余りが過ぎましたが、感染の拡大は止まるところがなく、県内の新規感染者数は8月9日には、過去最多となる2,166人に達しました。人流の増加に加え、感染力が強いデルタ株の影響も拍車をかけています。

本市においても、新規感染者数が毎日のように過去最多を更新し、8月9日には96人にまで達しました。これらの状況は、保健所機能や救急搬送機能のひっ迫だけでなく、怪我や病気などで通常受けられるはずの医療に支障をきたす「医療崩壊」につながり、私たちはこのような事態を絶対に避けねばなりません。

本市では、人流の抑制を強化するため、江の島岩屋やサムエルコッキング苑、湘南海岸や江の島にある駐車場の営業を休止、藤沢市観光センター案内所と片瀬江の島観光案内所の対面での案内業務を休止することとしました。また、海水浴場についても、海水浴場組合が8月16日からの休場を決定しました。

今、人混みのある場所に出かけることは大変危険です。

デルタ株のウイルス排出量は、従来株の1,200倍といわれています。その感染力は従来株の2倍、インフルエンザの3倍といわれています。人と接することで、いつでもどこでも感染してしまう可能性があるといっても過言ではありません。

私たちは、これまでと同様の対策では感染リスクが高まる可能性のあることを認識することが大切です。

ワクチン接種につきましては、高齢者や基礎疾患のある方の接種が進み、今後、感染リスクの高い若い世代の方の接種も進められるよう取組を充実させ、今までご不便をおかけしていた行動の制限や公共施設の利用制限などの社会的規制を一日でも早く緩和できるよう力を尽くしてまいります。

今一度、皆さんの感染対策を見直すとともに、不要不急の外出自粛をはじめ、今とっている基本的な対策をより一層強化しましょう。

これまで経験したことのない勢いで感染が拡大しています。市民の皆さまと心を合わせ、オールふじさわでこの難局を乗り越えていきましょう。

2021年（令和3年）8月13日

藤沢市長

鈴木恒夫